

[発行]社会福祉法人名古屋市天白区社会福祉協議会

〒468-0015/名古屋市天白区原一丁目301 原ターミナルビル3階

TEL809-5550 FAX809-5551 E-mail:tenpakuVC@nagoya-shakyo.or.jp

天白区社協

検索

情報紙「ぱわわ」へのご意見、ご感想も
はがき・FAX・メールにて受け付けています



視覚障がいその他の理由で活字のままで読むことが困難な人のために、
営利を目的とする場合を除き「録音図書」「点字図書」「拡大図書」等の
製作をすることを認めます。

クローズアップ!

10月1日~12月31日

天白区を良くするしくみ 赤い羽根共同募金がはじまります。

10月1日から赤い羽根共同募金が全国一斉に始まります。

毎年、地域・職場・学校・企業をはじめ、多くの皆さまにご協力いただきありがとうございます。

皆さまからお寄せいただいた募金の約70%が天白区のまちを良くする活動に、約30%が愛知県内の広域の社会福祉施設の整備や団体の事業等に役立てられます。



地下鉄駅前や大学祭でボーイスカウトや学童保育の児童に協力いただいた街頭募金活動

天白区では、以下の事業に活用させていただいております。

地域福祉の推進のために

- ・地域福祉推進協議会への支援
- ・福祉情報誌の発行 など

高齢者のために

- ・ふれあい給食サービス事業の促進
- ・ふれあい・いきいきサロン活動の推進 など

子どもたちのために

- ・子ども会事業への助成
- ・留守家庭児童育成会事業への助成 など

障がいのある方のために

- ・心身障がい(児)者各種事業への助成
- ・シーン・ボイスガイド付映画上映会 など

昨年度

赤い羽根共同募金実績額

10,109,965円

歳末たすけあい募金

232,596円



天白区社会福祉協議会
キャラクターてんてん

より良い地域づくりのために、今年も皆さまの
あたたかいご協力をお願いいたします。
赤い羽根は「たすけあい」「思いやり」「しあわせ」
のシンボルです。



その他、共同募金の詳しい使い道については、インターネットで公開しています。

赤い羽根データベース「はねっと」<https://hanett.akaihane.or.jp/hanett/pub/home.do>

問合先

名古屋市天白区共同募金委員会
(天白区社会福祉協議会内)
TEL809-5550 FAX809-5551

災害に強いまちづくり・ネットワークづくりにいっしょにとりくみませんか?

災害ボランティアグループ 天白でいぶりの活動

防災の経験・知識が
なくても大丈夫!
興味のある方なら
大歓迎です!

災害に強いまちづくり



「災害に強い天白区」をめざした活動を地域の中で続けています。勉強会やイベントだけでなく、地域の防災対策と一緒に取り組んでいます。

災害時に支援(ボランティアをコーディネート)



大規模災害時、天白区は「名城大学」に災害ボランティアセンターを開設する予定です。天白でいぶりは、その運営に協力する協定書を名古屋市と結んでいます。

地域住民、ボランティア、諸機関の 日常からのネットワークづくり

災害時に助け合えるよう、日常からお互いに顔の見える関係を目指しています。

天白区の関係機関はもちろんのこと、天白区以外の防災ボランティア団体とも連携しています。



天白でいぶり
第71回防災学習会

「100年前の地形図から学ぶ防災」

古い地名や天白川の氾濫の歴史も探ります。

約1300年前の尾張国の地図から始まり、現在と約100年前の地形図を見比べたり、旧地名やバス停の名称などから地盤や開発状況を探ります。事前の申し込みがあれば現在のお住まいの場所の約100年前の地形図(25000:1複製)を進呈します。(愛知県内ならほぼ対応可)是非ご参加ください!

講師 田中由幸 (天白でいぶり代表)

日時 令和2年10月25日(日)13:30~16:00

会場 天白区在宅サービスセンター(原ターミナルビル3階)

※駐車場はありません。周辺のコインパーキング又は公共交通機関を利用し来場ください。

参加費 無料(どなたでも参加できます) 定員 30名

申込方法 お名前とご連絡先を下記申込先へ電話・FAX・メール等にてご連絡ください。

参加者
募集!!

申し込み・問合先

天白区社会福祉協議会 担当:矢部 天白区原一丁目301 原ターミナルビル3階
TEL809-5550 FAX809-5551 E-mail:tenpakuVC@nagoya-shakyo.or.jp

※新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い中止になる場合があります。

いきいき支援センターを ご活用ください!

「いきいき支援センター」は、高齢者の皆さまが住み慣れた地域で安心して生活ができるよう、専門職員が健康・福祉・介護等様々な面から支援をする相談窓口です。
お気軽にご相談ください。



センターによくある相談

- ・自分が気軽に通える健康サロンを教えてください。
- ・介護保険のサービスを受けるにはどうしたらいいの?
- ・自分の親が認知症じゃないかと心配。
- ・近所の高齢者で心配な人がいる。 など

いきいき支援センターは区内に2カ所あり、担当区域が異なります。
お問い合わせはこちらへ...

植田・平針・原・久方中学校区

■天白区東部いきいき支援センター
TEL809-5555

■天白区東部いきいき支援センター分室
TEL808-5400

御幸山・天白・南天白中学校区

■天白区西部いきいき支援センター
TEL839-3663



No.55 ぽわわな 認知症の人の世界を知る(その54) 介護日記 『認知症の方の理解』 『いくつになっても母は母、娘は娘。』

Tさんは、87歳女性の認知症の方です。短期記憶障害があり、少し前の出来事を忘れてしまいます。以前も、お隣の方が、庭に落ちた洗濯物を届けてくださいましたが、Tさんが、洗濯物を干したことを忘れていたもので、お隣の方を泥棒扱いしてしまいました。同居の娘さんは、日々変わっていくTさんの言動を受け入れつつ、お世話を続けていました。

元氣なTさんでしたが、先日、食欲不振で入院することがありました。Tさんの入院中、娘さんは、コロナの制限のため面会ができず、Tさんの様子もわからずで、ただただ心配でした。

そんな娘さんの心配をよそに、Tさんは、2週間で無事に退院され、Tさんの変わらない様子に娘さんも安心しました。帰宅して落ち着いたTさんが、何気なく娘さんに「一人で留守番してたの?」と話されました。娘さんは「そうよ。お母さんをずっと一人で待ってたよ。」と答えると、Tさんは、

娘さんに「よくがんばったね!娘はね、そうやって家を守ることを覚えていくのよ!さすが私の娘ね!」と母親らしい口調で話されました。Tさんの入院中、面会も何もできず不安だった娘さんは、Tさんの突然のねぎらいの言葉に思わず号泣。。。Tさんは、泣き顔の娘さん(64歳)を抱いて「いい子にしてたね。よしよし。」とあやしていました。

数日後のTさん、相変わらず物忘れがあり、娘さんがトイレなどで席を外すたびに「娘が居なくなっちゃった。。。と不安になって探し回っていました。娘さんが戻って来ると、Tさんは、数年振りの再会かのように熱い抱擁で迎え、娘さんも笑顔で応えていました。このようにTさん母娘は、互いに思いやり合いながら、ハッピーの多い賑やかな日々を過ごされています。(モカ)



No.65 ぽわわな 子育て日記 『長いお休み』

お久しぶりです。
ようやく学校へ行けるようになり、嬉しくてご機嫌のねえね。

一方、学校嫌いの弟チビは、長いコロナ休みが終わってしまい、さらに夏休みが短くなって、残念そう。

この先、どうなるんでしょうね…。勉強は大丈夫なのかしら…

そんな親の心配をよそに、子どもたちは、たくましく生きています。コロナ休みの間、チビは、ほぼ毎日、朝早くから友達と公園で遊んでいました。

いつもは、なかなか起きないくせに、友達との約束がある日は、パッと起きて、てきぱきと出かける準備をしています。行動範囲も広くなり、



かなり遠くの公園まで行ったと聞いて驚くことも。

宿題の音読は全くやらないのに、自主的に魚の図鑑を毎日1ページずつ音読し、魚の種類を覚えるのに夢中です。釣り好きの友達がいて、魚に関する知識を競っているのだとか。

障害のあるねえねはいつも通りマイペースで、コロナ禍などど吹く風。弟のチビは、コロナ禍のおかげ(と言っはいいませんが)で、自立心がめばえ、一回りも二回りも成長したように感じます。

先が見えない世の中ですが、笑顔あふれる子どもたちを見ると、明るい気持ちで乗り越えていけそうです。(サトコ)



「天白区福社区民のつどい」及び「民生バザー」開催中止のお知らせ

例年10月に、天白公園ならびに天白生涯学習センターにて開催させていただいている「天白区福社区民のつどい」・「民生バザー」は、新型コロナウイルス感染症にかかる諸状況を考慮した結果、本年度は中止させていただくことにいたしました。

開催を楽しみにされていた皆さま、ご協力をいただいている関係者の皆さまにおかれましては、誠に残念なお知らせですが、ご理解いただきますようお願い申し上げます。



「天白区福社区民のつどい」実行委員会
ふれ愛ネット天白
天白区社会福祉協議会

この指情報コーナー

天白区社会福祉協議会の連絡先は本紙表面上部に記載

はつらつサポーター大募集!

高齢者はつらつ長寿推進事業(以下、はつらつ)とは、体操や工作、音楽など毎週異なったプログラムを通じて、介護予防・認知症予防に取り組む健康づくりの事業です。

会場の設営準備やプログラムの補助、参加者の見守りをしてくださるボランティアさんを大募集します!難しいことはありません。一緒に楽しみながらボランティア活動していただけますよ!

天白区内に8会場ありますが、特に植田南コミセン・おおね荘第3集会場・高坂荘第2集会所でお手伝いをしてくださる方、大歓迎です!活動の曜日・時間帯は以下の通りです。まずはお気軽にお問合せください。

時間	曜日	月	水	木	金
午前▶9:40~12:00		天白区在宅サービスセンター	大坪コミセン	平針南コミセン	野並小学校
午後▶13:25~15:45		植田南コミセン	おおね荘第3集会所	山根コミセン	高坂荘第2集会所



<https://www.facebook.com/fureainettenpakufukushikuminnotsudoi>

ふれ愛ネット天白

誰もが安心して暮らすことのできる天白をめざして



スマートフォンなどをお使いの方は、こちらのQRコードからFacebookページにアクセスしていただけます。



自転車の交通ルールについて学びました!

令和2年7月4日(土)は、ふれ愛ネット天白総会に先立って会員学習会を開催。今回は天白警察署交通課の久野係長に講師をお願いし、会員から要望が多かった「自転車の交通ルール」について学びました。

自転車には原則車両の交通ルールが適用されますが、子どもの頃に乗り方は教えてもらっても法律までは教わらないことが多いのが現状。年齢や状況によっては歩道を通ることもできますが、その時の細かいルールや横断歩道・自転車横断帯などについては知らなかったことも多く、勉強になりました。また、質疑応答では知的障害がある人の自転車使用についても話題となり、交通ルールの理解や判断が難しい人は乗らないようにすること、成人であれば事故の責任は原則本人にあること、危険な運転をしていると連絡があれば安全相談などとして警察署内で情報共有していることなどをお話いただきました。



新型コロナウイルス感染警戒の影響もあって自転車利用者も多くなった近頃。乗る側も周囲も正しく自転車の交通ルールを理解して、お互いの安心安全につなげていきたいものです。

マスク着用で息苦しい状況ながらもわかりやすく軽快にお話しくださった久野係長、ありがとうございました。

「ふれ愛ネット天白」事務局(天白区社会福祉協議会内)
TEL809-5550 FAX809-5551

ふれ愛ネット天白とは
天白区内の障がい児者・子ども・高齢者に関わるボランティア団体・施設等が所属するゆるやかなネットワークです。

会員募集!

第72回赤い羽根協賛 児童生徒作品展のご案内

天白区内の小・中学校の生徒から応募いただいた書道とポスターの作品の中から、それぞれ入賞した作品の展示をします。ぜひ、子どもたちの力作をご覧ください。



【展示場所・日時】天白図書館展示スペース
令和2年10月17日(土)~10月30日(金)午前中まで

【天白図書館開館時間】
火~土曜(祝日除く)9:30~19:00
日曜・祝日9:30~17:00



次の方々より天白区社会福祉協議会にご寄付をいただきました。厚くお礼申し上げます。天白区の地域福祉推進に有効に活用させていただきます。
(令和2年2月1日から7月末日受付分 受付順)



- ユニー株式会社 ピアゴ平針店 様・名古屋ヤクルト販売株式会社 様
- ユニー株式会社 ピアゴ植田店 様・名城大学ボランティア協議会 様
- 天白でいぷり 様・橋本 吉広 様

●合計 6件

ふれあいいきいきサロン 整備助成金のご案内

名古屋市・天白区社会福祉協議会では地域住民どなたでも集まることができるサロンの開設、運営費用の一部を助成する事業を実施しています。

詳しい助成内容・要件・申請方法は天白区社会福祉協議会までお問い合わせください。

要件	開設助成金	運営助成金
内容	サロン開設に際し必要な物品購入経費に対する助成	サロン運営の実績に対する助成
参加対象	名古屋市内在住の地域住民誰でも参加対象とすること	
実施場所	地域の身近な場所	
実施回数	月1回以上、定期的に	月2回以上、定期的に
参加人数	5人以上	5人以上
申請時期	随時受付	半期ごとに受付
その他	申請には、領収書、参加者名簿等、添付書類が必要になります	